

# 訪問看護師・病院看護師 人材交流在宅看護教育プログラム

訪問看護コース・在宅療養移行コーディネーターコース

## 【お問い合わせ先】

奈良県立医科大学 在宅看護学 小竹 久実子

〒 634-0813 奈良県橿原市四条町 88

TEL : 0744-22-3051 FAX : 0744-29-8960

E-mail : [kkotake@naramed-u.ac.jp](mailto:kkotake@naramed-u.ac.jp)

# 1. 教育目的

本コースは、在宅看護のリーダーを育成する臨地実習指導者および主任クラス或いは同等以上とみなされる病院看護師および訪問看護師を対象とした人材交流を活用した教育プログラムです。

目的は、病院および在宅における訪問看護の実際を経験し、互いの看護の場の現状の理解を深め、顔のみえる関係づくりができ、最終的に地域包括ケアシステムの構築を担う人材の育成をめざしています。

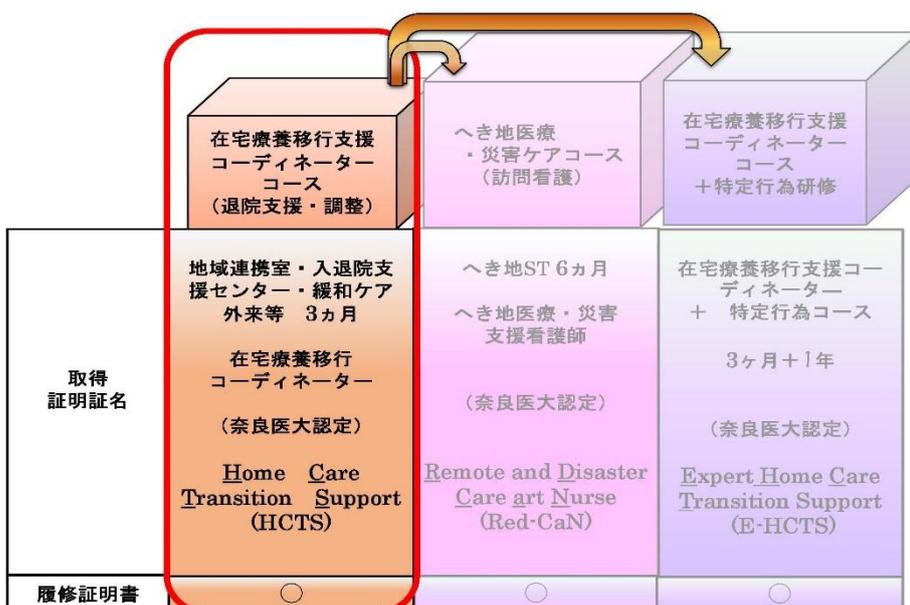
本教育プログラムの特徴は、①互いの看護の現状を理解し、療養者とご家族が安心してシームレスに療養移行できるように支援するきっかけとする、②看護に対するモチベーションの維持・向上を図る、③病院および在宅看護間の看看連携の強化を図る契機となる、④同時期に互いの場での研修が行われる仕組み、⑤病院看護師は訪問看護を経験、⑥訪問看護師は現在の病院の先端医療と入退院支援や緩和ケア、外来等、日々のケアに活かせるような場を経験、⑦コース修了時に修了証または履修証明書を取得できる点です。

# 2. プログラムのイメージ



ST:訪問看護ステーション

図1. 病院看護師の場合



ST:訪問看護ステーション

図2. 訪問看護師の場合

### 3. 出向の全体図

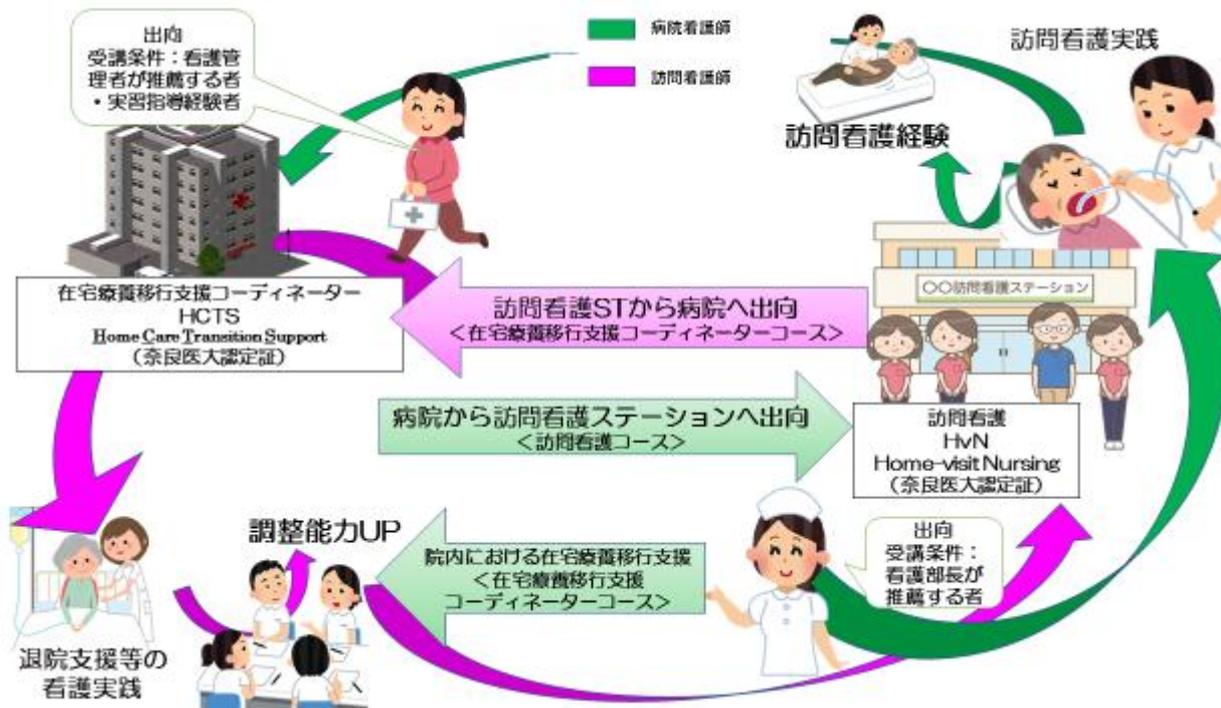


図3. 出向体制

月	9月	10月	11月
訪問看護 3か月コース	同行訪問 単独20件以上/月		
共通授業（講義・演習）	講義1日	演習1日	演習1日
在宅療養移行支援 コーディネーター 3か月コース	病院（入退院支援センター他）		

訪問看護師（例）

月	期間	出向先（病院）
9	※1日/週	入退院支援センター
10		精神科
11		神経内科

※祝日除く

病院看護師（例）

月	期間	出向先（訪問看護ステーション）
9	月～金	・訪問看護 1日2～3例
10		・2か月目から 単独訪問
11		

※祝日除く

図4. 訪問看護師・病院看護師出向における基本スケジュール

## 4. コースの概要

### 1) 訪問看護コース

- ・受講対象者:病院看護師
- ・受講可能条件:看護部長が推薦する者、キャリア開発ラダーⅢ以上の者
- ・訪問看護ステーションでの実践(小児から高齢者、難病者、ターミナルケア、他病院との連携等)

### 2) 在宅療養移行支援コーディネーターコース

- ・受講対象者:病院看護師、訪問看護師
- ・受講可能条件:看護部長・管理者が推薦する者、キャリア開発ラダーⅢ以上の者
- ・地域医療連携室、入退院支援センター、緩和ケアなどの外来、他病院との連携等での看護実践
- ・多重課題のある在宅療養移行支援
- ・高度医療技術の習得(最新の医療機器の学習)

## 5. カリキュラムの科目内容

<b>【基礎編】</b> 訪問看護コース / 在宅療養移行支援コーディネーターコース	7時間 45分 8:30-17:15	宇都宮宏子、小竹久美子 栗田麻美
---	-----------------------	---------------------

### 〈到達目標〉

奈良の地域の特徴と地域包括ケアシステムの現状をふまえ、奈良県内におけるシステム構築について、マクロな視点から方策を検討し、今後の自身の看護実践や役割について考察できる。

<b>【演習編】</b> 訪問看護コース / 在宅療養移行支援コーディネーターコース	19時間	宇都宮宏子、小竹久美子 栗田麻美
---	------	---------------------

### 〈到達目標〉

深く考察したい事例を1事例選択し、事例紹介できるようにまとめ、再アセスメントし、看護のあり方をリフレクションし、地域包括ケアシステム体制の構想について検討する。

<b>【実践編】</b> 訪問看護コース / 在宅療養移行支援コーディネーターコース	174時間/ 156時間	臨地実習指導者 他
---	-----------------	-----------

### 〈到達目標〉

訪問看護の実際を通して、看護の対象を時間軸で捉え、支援のタイミングおよび先を見据えた看護計画を立案して援助する。その援助が生活の視点に基づいたニーズに沿った看護となっていたか、連携チーム体制の構築の在り方を考察できる。

### 〈実習場所〉

療養者入院病棟、入退院支援センター、外来、訪問看護ステーション